

令和5年度第1回鶴見地域振興審議会議事録

1 開催日時 令和5年8月30日(水)14:00～15:30

2 場所 鶴見振興局3階 大会議室

3 出席者

委員:濱野芳弘、磯部幸二、濱野圭太、大家 知子、芦苺誠仁、成松喜和子、山本裕美、
坂本由佳理、神崎真由美、野村勇作

委員10名中10名出席

(市職員等)

鶴見振興局:坂本光裕、赤峰秀、休坂武志

4 議題

- (1) 会長及び副会長の選任について
- (2) 第2次佐伯市総合計画(後期基本計画:地域活性化分野)について
- (3) 令和5年度鶴見地域佐伯創生推進総合対策事業概要について
- (4) 令和5年度鶴見地域創生支援協議会役員の選任について
- (5) その他 質疑・応答

5 議事録

事務局:皆様こんにちは皆さんこんにちは。足元の悪い中お集り頂きましてありがとうございます。
す。ただいまから令和5年第1回鶴見地域振興審議会を開催します。

開催に先立ちまして振興局長の坂本からあいさつを申し上げます。

局長:挨拶

事務局:今年度、地域審議会委員の改選がありましたので、委嘱状の交付を行います。

再任の芦苺委員に代表して委嘱状の交付を行います。

(局長から授与)

それでは議事に入ります。役員選任が終わるまでは坂本局長が議事進行を務めます。

局長:議事1の会長・副会長の選任を行います。

誰かやってみたいと思われる方、立候補お願いします?

それでは、立候補なしと言うことで、事務局に腹案がありますがよろしいでしょうか?

会長に濱野芳弘委員、副会長に磯部幸二委員を事務局案として提示します。

承認される方は拍手をお願いします。

(拍手多数)

拍手多数で承認されました。

事務局:それでは濱野会長あいさつをお願いします。

(挨拶)→拍手

続いて、委員の皆様一言ずつ自己紹介をお願いします。まず、副会長の磯部委員より順番にお願いします。

(自己紹介)→拍手

ここからは議長を会長に交代します。濱野会長よろしくお願いたします。

会長: それでは議案2の第2次佐伯市総合計画(後期基本計画:地域活性化分野)について事務局より説明を求めます

事務局: 事務局より概要説明

会長: 事務局より説明がありましたが、ご質問やご意見はございませんか?

濱野圭太委員: ブランディング戦略として EC サイトでアパレル販売を展開するということですがターゲットはどの層ですか?

事務局: 鶴見のコンセプトブックや SNS、アートイベントなどの活動を見て興味を持って下さった方に刺さればいいなと考えています。マスではなくニッチをターゲットにしています。

成松委員: 「さいとうたん(鶴御崎の九州最東端に設置してあるオブジェ)」はひらがな?どんな字を書くのですか?

事務局: ひらがなで「さいとうたん」と呼称しています。

会長: わかりにく気もします。最東端とハッキリ解るようにした方がいいのではないのでしょうか?

局長: 鶴見半島の形をデフォルメしてキャラにしています。

事務局: あえて多くの情報を開示せず謎めいた雰囲気醸し出しています。これはいったい何なんだ?と、「さいとうたん」をきっかけに鶴见到興味を持っていただけたらと思います。

磯部副会長: 景観支障木の伐採についてですが、鶴御崎以外、例えば林道を伐採する予定はないですか?昔は、林道から見る海の景色が素晴らしかったのですが、今は山林に覆われて海が見えなくなっています。あの景観を復活させて欲しいです。

会長: 鶴見町役場時代は、環境美化作業員を2人雇用し、景観保全に努めていたが、合併してそのような対応は難しくなった。

局長: 鶴見町役場時代は、「鶴見スカイライン」と呼称しその景観を1つの観光の売りにしていました。今は、当時と比べ台風や大雨による土砂崩れになる箇所が多く、その復旧に追われています。また、民地の伐採は難しいこともあります。また魚付き保安林もありますので簡単に伐採できません。

山本委員: 住んでいる人が楽しいがイベントをして欲しいです。私の子供は釣りが好きで、子供の友達も釣りが好きで弥生から鶴见到釣りに来たりしています。小中高校生の間では、釣りがブームで特に鶴见到釣り場として人気があります。また、有名なアングラーが鶴见到たくさん訪れて

います。鶴見に昔釣りのイベントがあったと聞いていますが復活させてはどうでしょうか？子供たちもスタッフとして参加すれば素晴らしい体験になります。釣り具メーカーとタイアップして釣りの企画をしてみたらどうでしょうか？

局長：鶴見町役場時代に5月のGW中に1日、「ファミリー釣り大会」というこじんまりしたイベントをやっていた時期があります。大物賞等があり家族単位で参加してもらっていましたが、本当に今日釣った魚なのかわからない(苦笑)。明らかに鮮度が悪い魚が入っていたりして公平な審査ができない等の理由で止めたと思います。そのようなニーズがあれば検討したい。

事務局：鶴見のInstagram等のSNSのフォロワーさんに中高校生アングラが結構居ます。SNSの繋がりをを使って釣りイベント等の企画を募ってみたいと思います。

濱野圭太委員：鶴見の魚の付加価値を上げる取り組みとありますが、鶴見の魚は質の割に安いという印象があります。特に1本釣りの魚は安い印象があります。結局、流通しないで地産地消で終わっているのが残念です。

会長：流通市場は安定供給してくれることが第一条件なので、量の保証ができない1本釣りで釣れる魚に値が付きにくいです。

局長：鶴見の場合、漁の方法が多種多様で、佐賀関のようなブランディングが難しい面があります。おさかな大百科の発刊や明野アクロスとわさだタウンのJF直営店舗で毎週水曜日に鶴見の市場直送の鮮魚を販売するなど流通拡大に向けた取り組みをしています。

会長：大島の買物支援の取り組みはどれも良い取り組みですね。大島での反響はどうですか？

濱野圭太委員：とても有難いことです。今まで、定期航路を使って買い出しに行っていましたが、1回に移動費だけで5,6千円使っていたので経済的にも有難いです。

局長：今年度は試験運用ということで、漁協の全面的な協力もありサービスの対価はいただいております。今年の取り組みの中で受益者の方に対価を支払っていただくことも検討し、ゆくゆくはコミュニティセンターの事業として運営できる仕組みを作っていきたいと思います。

芦荻委員：鶴見は素晴らしい食材があるのに飲食店が少ないのもったいない。飲食店が多数あり繁盛している港町もあります。大して美味しくないのに値段も高い(苦笑)。どうして、こんなに豊かな食材が目の前にあるのに飲食店が少ないのでしょうか？飲食店を誘致するような取り組みも必要だと思います。私は船曳漁師ですが、鶴見は「しらす」の印象が薄いです。米水津より鶴見の方が米水津より漁が多いのに「しらす」と言えば米水津の印象になっている。「食」の充実が一番手っ取り早い観光振興策だと思います。

会長：鶴見の「しらす」の印象は確かにないです。

芦荻委員：佐伯湾で獲れる「しらす」はほぼ鶴見の市場に揚がっています。上浦の潮湯の海鮮丼に行列ができるのですから、市場に近い鶴見に飲食店が少ないのは残念です。

事務局:海宝パークが閉店したこともあり一気に食事処が消えてしまった。来年以降に指定管理施設の公募をすることになります。しかし、あの施設はロケーションも抜群ですし開けば確実に儲かると思います。芦荻委員さん、経営に乗り出してみませんか?(苦笑)

局長:なかなか飲食業界も人材不足で担い手がない状況です。あれこれアプローチもしてみましたが開業となると中々折り合いが付きません。

濱野圭太委員:鶴見に U ターンして帰ってきたのですが、あらためて思うのはアクティビティがないです。鶴御崎で行き止まり。その間にランドマークがない。そこに「食」のポイントが点在しているとお金落としてもらえるのかなあとと思います。大入島のオルレみたいなアクティビティが鶴見でもできないのかなと感じます。あと、牡蠣の評判はどうなのですか?

芦荻委員:牡蠣の養殖は本業ではなく副業なので手の空いた時間にやっています。ほかにも牡蠣の種苗を採取して販売するビジネスや海底熟成酒の沈下作業などもやっている。今はどのビジネスが一番効率的か見定めているところです。牡蠣の種苗については佐賀県大手養殖業者からとても品質が良いと言われています。

野村委員:私はマリンレモン栽培を副業でやっていますがなかなか大変です。木も結構、虫にやられたりするので予防したりと手間が掛かります。

会長:続いて議題3 令和5年度鶴見地域佐伯創生推進総合対策事業概要について事務局の説明を求めます。

事務局:令和5年度鶴見地域佐伯創生推進総合対策事業概要について説明

会長:事務局から説明がありましたが何か質問はありませんか?商工会の前でやったイベント(3月に行われた海の春祭り)はとても良かったです。サイズ感も良く地域の人が楽しんでた。ああ言ったイベントを地道にできるだけ数多くやっていって欲しいです。

局長:地域の皆さんが楽しんでいただけるイベントを企画していきたいと思います。

芦荻委員:知財戦略事業について、市の保有するお魚大百科で使った写真データ等を有料コンテンツにすることですが、私たちが使う場合もお金をとるのですか?

事務局:地域の方が利用する際にはお金は取りません。地域外の方や企業がうちのお魚大百科を製作したときにストックした魚介類の画像データやデザイナーに製作してもらった「さんとうたん」などのデザインデータを使う場合は有料コンテンツとして収益化を図りたいと考えています。地域振興のために製作した成果物なので、地域の方には積極的に利用していただきたいと思います。ただし、利用する場合は振興局へ相談をお願いします。今年度、著作権の関係も含め専門家と協議していきたいと思っています。

芦荻委員:教育支援事業とありますが、小学校のソーラン踊り復活はどうなっていますか?昨年度の審議会でも委員の中から小学校のソーラン踊り復活を切望する声がありましたが何か進展

はありますか？

事務局:現状、小学校は、みかぐらが定着しています。今年の豊魚祭もみかぐら踊りを披露する予定です。

芦荻委員:当時の松浦小学校の校長の意向でソーラン踊りからみかぐら踊りに変更されたと聞いています。閉校した吹小でもやっていました。鶴見の伝統であるソーラン踊りは引き継いで行って欲しいと思います。ソーラン踊りも色々なバリエーションがあります。鶴見独自のソーラン踊りがあっていいと思います。

事務局:松浦小学校のソーラン踊りの件については、松浦小学校と協議していきたいと思います。

会長:この件については、学校運営協議会の中でも提案したいと思います。また、基盤維持枠についてですが、里道・水路は地区が管理しないといけないルールになっていますが、地区がやれない所も多いのが実情です。この件については先般の会議で市の執行部から前向きに取り組む旨の意向を聞きました。

会長:続いて議題4 令和5年度鶴見地域創生支援協議会役員の選任について事務局の説明を求めます。

事務局:さきほどご説明した地域創生支援協議会役員を本審議員から3名ほど選出させていただきたいと考えております。鶴見地域創生支援協議会では、5名の役員を設置することとなっております。あて職で会長は振興局長、事務局長が私、事務局が休坂となっております。したがって、委員の中から副会長1名、会計監査を行う監事2名を決めさせていただきたいと思います。

どなたか希望される方おられますか？

では、事務局より、副会長は濱野会長、監事については、磯部委員と成松委員が適任と思いますがどうでしょうか？適任と思われる方は拍手をお願いします。

(拍手多数)

事務局:拍手多数ですので、副会長に濱野会長、監事については、磯部委員と成松委員ということとでよろしく願いいたします。

会長:そのほか全体を通して意見、感想等ございませんか？

局長:豊魚祭の予算も年々縮小傾向にあります。時代の潮流と共に豊魚祭も進化していかなければと思っています。振興局からは積極的に情報発信、情報提供を行ってまいります。その中で皆さんから意見を頂戴したいと共にお力をお借りしたいと思います。

会長:ほかに意見、感想等ございませんか？よろしいですか？

それでは令和5年度第1回鶴見地域振興審議会を終了します。